

パブリックコメント手続の実施結果について

- ・ 案件名 伊東市新図書館基本計画（案）
- ・ 実施期間 令和3年11月25日（木）から令和3年12月24日（金）まで
- ・ 担当課 生涯学習課
- ・ 意見提出数 13人・46件

「伊東市新図書館基本計画（案）」に対していただいたご意見と市の考え方

No.	頁	意見内容	市の考え方
1	2	1-2-1 基本構想における新図書館の在り方 <意見>「新図書館へのアクセスの強化」ですが、新図書館の駐車場は入り易くすべきです。ワクチン接種の時の「健康福祉センター」が良い例ですが、ちょっと利用者が多くなると交通整理が必要になる様では誰でも利用出来ないし、人件費も掛かります。スムーズに入れて、楽々駐車(スペースの広さ)出来て、雨の日も濡れないで入れて、スムーズに出庫出来る。これが一番大事です。中身も大切ですが、アクセスが一番大事です。	新図書館へのアクセスを強化するに当たって、使いやすい駐車場を整備することは重要であると認識しております。 今後、基本設計及び実施設計を進める中で、誰もが使いやすい駐車場となるよう検討を深めてまいります。
2	2	1-2-1 拡充機能・コンセプト等 <意見>サテライト図書館の設置を南部地域のみ限定する理由はなにかあるのでしょうか。同じ市域であり、同様な税負担をしているにもかかわらず、市域のどこに住んでいるかでそもそもの検討の俎上にも挙がらないのはいささか乱	該当部分は令和3年3月に策定した「伊東市新図書館基本構想」の概略をまとめており、「図書館・文化ホール建設に向けた検討会」、「地域タウンミーティング」、「未来ビジョン会議」、基本構想策定に向けた市民ワークショップなどの市民意見及び基本構想策定委員会での検討結果を反映したものとなっております。

		<p>暴かと思えます。そのため、市域北部に関しても設置が検討できるよう、以下のように修正すべきと考えます。</p> <p><修正案>1-2-1 拡充機能・コンセプト等</p> <p>市全体の新たな図書館サービス網に必要なサービス(案)</p> <p>①市内各施設でのサテライトサービス</p> <p>返却ポスト・サービスコーナー・サテライト図書館の設置</p>	<p>サテライト図書館の設置については、基本構想段階から検討を進めており、今後、伊東市新図書館を中心とした市全体の図書館サービス網の詳細検討を進める上で、適切な位置やサービス内容の参考とさせていただきます。</p>
3	3	<p>ゾーニング及び配架方針</p> <p><意見>上層部への重点配架ではなく、低層部に集約する。</p> <p><理由>子供、年配者への配慮として、図書の配架を低層部になるべく集約する。上層部を「知の活動拠点」として整備するゾーニングを検討したらよいと思う。</p>	<p>建設予定地が津波浸水想定区域及び洪水浸水想定区域であることや、これまでの検討過程で寄せられた市民意見等を踏まえ、伊東市新図書館基本構想では、1階部分には貴重な資料等は配架せず、交流機能などの活動的な機能を導入することが望ましいとしています。なお、新図書館の整備に当たっては、ユニバーサルデザインに十分配慮し、エレベーター等で上層階への利用者動線を確認してまいります。</p>
4	8	<p>3-1 新図書館の目指す姿</p> <p><意見>伊東の偉人である肥田浜五郎や中村正直のことも書き入れて下さい。</p> <p>なお彼等の記念室やコーナーを設けることを切望します。</p> <p><理由>郷土の偉人に誇りを持つことで、人は明るい未来に進むことができるからです。</p> <p>子供から大人まで周知することが大切です。</p>	<p>新図書館の柱となる「まちのミュージアム」では、郷土資料を始め、伊東市の歴史・文化やそこから連想される幅広い資料及び情報を積極的に収集・発信することを想定しています。</p> <p>肥田浜五郎や中村正直などを含む様々な伊東市ゆかりの人物についても、サービスの詳細な検討を進める中で、「まちのミュージアム」での展示・紹介などを検討してまいります。</p>
5 6	8 11	<p>まちのミュージアムについてご提案</p> <p><意見>「まちのミュージアム」構想良いと思えます。基本的には賛同致します。ただ、この企画書を読む限り、住民が</p>	<p>新図書館では、市民ひとりひとりが自身の夢と未来を育み、シックプライドを醸成する場として、伊東市の魅力を市内に限らず広く世界へと発信していくことに加え、市民自身が地域の魅</p>

		<p>まだ知り得ていない現存の伊東の魅力を内内でシェアする、という目的がとても強く感じられます。私はこれではまだ、未来を考える上で踏み込みが足りないと思いますし、市民が「観光中心の考え方で、今までとあまり代わり映えしない」とがっかりすることにもなりかねないと考えます。</p> <p>これに加えるか、隠れテーマでもいいのですが、もう一つの「創造的」テーマとして、市民が客観的かつ相対的にも自分のまちを捉えられるような、世界と伊東との意外なつながり、もしくは純粋に伊東市民が「外を見る・知る」機会となる基本のコンセプトが必要ではないかと思います。私は移住者として、伊東の魅力を感じていますが、伊東に生まれ育った方との価値観のギャップを感じることも多いです。それは、外の目から見た伊東というものが、ひとつ新しい価値を生んでいるからだと思います。このような理由で、外からも、内からも様々な視点で見方を広げていき、地域の可能性や意外な歴史などをどんどん作り出していく。またそういう研究がひろがり、伊東の新たな価値をみんなの力で発見・創造していけるような場所に図書館がなれば良いなと思います。</p> <p>もう一つの言い方で、わかりやすく言えば、世界（伊東の外）で起きていることを市民が学ぶ機会の確保のことも言語化してほしい、ということです。</p>	<p>力を再発見し、更なるまちの活性化へつなげることが重要であると考えております。地域の魅力再発見に向けた具体的な取り組みとして、今後、サービスの詳細を決めていく上での参考とさせていただきます。</p>
7	9	<p>3-2-3 創造を生み出す活動と情報の一体的な提供 <意見>「本やスペースの提供にとどまらず図書館機能と生</p>	<p>新図書館では、施設内外で生まれる市民の活動や学び、その成果等も「まちの情報」に位置付け、積極的に収集・編集・発信する</p>

		<p>涯学習機能を融合した企画やイベントを展開」することに加えて、利用者から“新図書館アンバサダー”を募り新図書館の情報発信を行っていただく。</p> <p><理由>現在、人々の多くはスマートフォンを通じて SNS や情報サイト・動画配信サイトなどから情報を取得し知識を深めている。この傾向からネット上での意見や評判を多くの人々が参考にするようになった。このような動きを活用して“利用者自身が発信したくなる新しい図書館”としてのブランディングを強化し UGC 活用を行うことで新図書館が“提供される”受動的な場所ではなく“自分たちで作る・広める”参加型の地域拠点となると考えられるから。</p>	<p>ことを検討しています。</p> <p>新図書館の施設及びサービスに関する具体的なPR方法や運営面での市民協働の在り方として、今後、管理運営方法に関する詳細を検討する上での参考とさせていただきます。</p>
8	11	<p>ギャラリーの仕様について</p> <p><意見>公共の場である図書館において、展示物の保護というのが一つの課題となります。建設予定のギャラリー部分について、どの程度、作品の保護を視野にいれているかを知りたいです。もし貴重な資料を展示できるようにするなら、人員の配置もしくはガラスケースの設置などが必要になってくると思いますが、何かイメージがありますでしょうか。</p> <p><理由>パネル展のような簡単な展示ばかりではなく、時に「見られてよかった」と思う貴重な資料も展示してほしいなと考えたので。(杵太郎の原画や古文書、絵本原画展など)</p>	<p>ギャラリーは市民の絵画・写真・工芸品等の作品展示を主な用途として想定しております。利用者が気軽に立ち寄り、作品や活動について知ることができるオープンな空間を想定していることから、温湿度等の厳重な管理が必須となる貴重資料の展示への対応は予定していませんが、今後の基本設計、実施設計及び管理運営方法に関する詳細を決めていく中で、適切な作品保護の方法や市内外の他施設と連携した企画展示等も併せて検討してまいります。</p>
9	13	<p>4-1-3 創造を生み出す活動と情報の一体的な提供</p> <p><意見>地域の拠点でありつつも開かれた場として、移住者</p>	<p>新図書館の施設及びサービスに関する具体的なPR方法として、今後、管理運営方法に関する詳細を検討する上での参考とさ</p>

		<p>&移住候補者、リモートワークの都心勤務者のワーケーション需要にも応えられるコワーキングスペースを提供し、宣伝PRすることで“働きやすく住みやすい伊東”を代表する拠点であることを訴求したい。</p> <p><理由>豊かな資源を豊富に備えた伊東市を、高齢化・人口流出により衰退させることなく、観光やジオパークだけでなく、ニューノーマルにも通用する新しい付加価値を提供できる街として、新図書館を中心に対外的にも発信し『住みたい街』イメージを強化し、人口増、不動産需要増による地域活性化を実現するため。</p>	<p>させていただきます。</p>
10	14	<p>4-1-4 ICTによる新たな体験の提供</p> <p><意見>IC タグ導入による非接触型サービス推進に欠かせないWEB上での蔵書検索、予約システムの充実を図ってほしい。利用者マイページのお気に入り登録や新刊本予約、リクエストなど機能も希望。</p> <p><理由>住前、渋谷区立中央図書館を利用していた際、予約システムが充実しており、結果として図書館利用頻度も増えたことから伊東市新図書館でも同様な仕組みがあると利活用促進になると考えるため。</p>	<p>新図書館におけるWEBでのサービス内容については、今後、サービス内容や管理運営方法に関する詳細な検討を進める中で併せて検討してまいります。</p>
11	14	<p>デジタル化について</p> <p><意見>文化財管理センターの保存史料のデジタル化が予定されている。大変に楽しみにしている。</p>	<p>文化財管理センターに保管されている貴重な歴史資料についても、デジタルアーカイブ化を通じた長期的な保存や積極的な利活用を検討してまいります。</p>
12	14	<p>4-1-5 その他のサービス</p>	<p>誰もが使いやすい図書館を目指し、ソフト面においてもユニバ</p>

		<p><意見>障がい者サービス、多文化サービス或いは全年齢に向けたサービス等を包含した言葉として「ユニバーサルデザイン」という表現があるため、こちらの文言に置き換えるべきではないかと考えます。</p> <p><修正案>障がいの有無、年齢、性別、人種等にかかわらず、誰もが安心して利用することのできる施設を目指し、現在の図書館で実施しているサービスに加え、ユニバーサルデザインを意識した図書館サービスを提供します。</p>	<p>ーサルデザインの考え方を取り入れてサービスを提供することとします。</p> <p>ご意見を踏まえ、『現在の図書館で実施している障がい者サービスに加え、市に住む外国人や市を訪れる観光客・旅行者を対象とした資料も収集するなどの多文化サービスも取り入れるほか、ユニバーサルデザインの考え方をソフト面にも取り入れてサービスを提供し、誰もが使いやすい図書館を目指します。』に修正いたします。</p>
13	15	<p>4-2 市全域のサービス</p> <p><意見>市内開催行事と連携したイベントについて、大規模な施設だからできることは他にないか。</p> <p><理由>イベントはすでに市内各地で行われているため(藤の広場やキネマーケットなど)、内容が重複してしまうのではと思います。</p> <p>それよりも、図書館開催行事と連携することで、実店舗等の集客にもつながるような、単発のお祭りではなく市内の産業の活性化につながるような仕組みを期待します。</p>	<p>市内で開催する各種イベントとの連携を検討するなど、まちの活性化に向けた取組みについて、今後、サービスの詳細を決めていく上での参考とさせていただきます。</p> <p>ご意見を踏まえ、『市内で開催する各種イベント等と連携した取組みの推進』に修正いたします。</p>
14	15	<p>サテライトについて</p> <p><意見>サテライト、の項目に関して。予約本受け取りと返却ポスト設置とありますが、調整が難しいとは承知致しますが、将来的に各地区のコミセンとの連携を視野に入れていただきたいと思っています。また、できれば伊豆高原地区か南部地区に小規模でも、本を置いた出張所、もしくは市民図書</p>	<p>サテライト図書館については、これまでの検討内容や市民意見を踏まえ、基本構想段階から設置に向けた検討を進めております。各地区のコミュニティセンターとの連携についても、市全域の図書館サービスの在り方に関して詳細を決めていく上での参考とさせていただきます。</p>

		<p>館など設置の上での連携など、検討頂ければより文化的・教育的な意義があると思います。</p> <p><理由>せっかくコミセンに図書室があるので、せめて交流等をして、より地域に読書活動などが根付いてほしいと考えるため</p>	
15	16	<p>施設整備計画</p> <p><意見>・読書も可能なカフェ</p> <p>・PC作業が可能なワークスペース について（具体イメージがないので以下に意見）</p> <p>新型コロナウイルス過での新たな生活様式として、図書館機能のみならず、スターバックスやタリーズ等のカフェ併設で、ワークスペースも新たに設置することで多様な働き方の場所を提供し、図書等文献からの知識との融合による「新たな知」の創造場所としてサービスを提供したらどうか。伊東市民の利用を最優先としつつ、近隣市町村住民にも施設を一部開放し（利用料金の徴取方法は要検討）、伊東市が伊豆地域の「知の活動拠点」として認知されるような取組みを期待したい。具体的には全国展開している企画会社がいくつかの公共の図書館等で提供しているサービスの事業形態をイメージしている。</p>	<p>今後、基本設計及び実施設計の中で、カフェ及びワークスペースの検討を進める上での参考とさせていただきます。</p>
16	16	<p>2F 丘とつながる創造のフロア</p> <p><意見>つながるのは「丘」でしょうか。施設コンセプトとして丘のような形状を用いたことは理解しますが、施設内だ</p>	<p>新図書館では、伊東の豊かな自然や街並みと調和し、まちとつながりを感じられる施設となることを目指しております。そのために、伊東の大地や地形を想起させる丘をつくり、その丘を媒</p>

		<p>けで完結してしまう印象を持ちました。つながるのは図書館の外の世界である「まち」であり、そこから「創造力が広がる」と考えられるのではないかと思います。</p> <p><修正案> 2F まちとつながる創造のフロア</p>	<p>介として伊東の自然やまちと施設が連続する形とすることを想定し、2階を「丘とつながる創造のフロア」と設定しております。</p>
17	16~	<p>カフェの配置について</p> <p><意見> カフェと図書館の階層が離れているのは如何なのでしょう。図書館内での飲食も可能であれば隣接のセブンイレブンで購入すればことが足りるのではないのでしょうか。カフェと図書館は同一階にあり、階段やエレベータを使用しなくても自由に行き来ができる連続性があるって初めて意味があるのではないのでしょうか。カフェが別の階層では利用しにくいと感じます。なお、図書館から注文することにより、カフェの店員が館内まで運んで来てくれるのであればこれでも良いとは思いますが。</p>	<p>建設予定地が津波浸水想定区域及び洪水浸水想定区域であることや、これまでの検討過程で寄せられた市民意見を踏まえ、伊東市新図書館基本構想では、1階部分には貴重な資料等は配架せず、交流機能などの活動的な機能を導入することが望ましいとしています。また、1階は大通りに面し、施設の顔となる部分であることから、カフェ・ショップなどの誰もが親しめる憩いのスペースを設置するとともに、本に興味がない人でも思わず手に取ってみたいくなるような資料を配架し、カフェメニューと併せて楽しめる場とすることを想定しております。従来の図書館機能とカフェとの連携については、管理運営方法に関する詳細を検討する中で検討してまいります。</p>
18	17	<p>ともだち号について</p> <p><意見> ともだち号をもう一台増やしたりしないのでしょうか？</p> <p><理由> 拡充とどこかにあった気がしたので。</p>	<p>移動図書館ともだち号については、台数を増やす予定はありませんが、従来の運用方法に加え、市内イベントへの参加や資料配送での活用など、移動図書館車両を活用した様々なサービスを検討しております。</p>
19	18	<p>5-2-3 新たな機能等</p> <p><意見> エントランスや広場に“空港ピアノ”や“駅ピアノ”のように自由に弾けるピアノを配置してはどうか。</p> <p><理由> 音楽は言葉や人種、年齢、性別を超えて通じる。文</p>	<p>エントランス及び広場は、多様な利用者が集まり、交流し、賑わいが生まれる空間として、様々な活用を検討しております。楽器の設置や運用方法について、今後、基本設計、実施設計及び管理運営方法に関する詳細な検討を進める上での参考とさせていただ</p>

		化的要素をふんだんに盛り込み人を惹きつける新図書館にしたい！	だきます。
20	18	<p>5-2-3 新たな機能等</p> <p><意見>「バリアフリー」は「もともとある障害を除去する」といった意味合いであり、新設する施設においては似つかわしくありません。欧米諸国では誰もが使いやすい、ジェンダーレス等の意味も含めた「ユニバーサルデザイン」が広く使われています。また、文章において等が続いてしまっている問題も言葉を置き換えることにより対応できると考えます。</p> <p><修正案>新図書館の新たな機能として、カフェやショップ、コワーキングスペース等を設置します。また、ユニバーサルデザインの観点から、誰もが使いやすい施設となるよう共用部分を整備し、屋外にはイベントを開催したり子どもが遊んだりできる機能の付加も検討します。</p>	<p>誰もが使いやすい図書館を目指し、ユニバーサルデザインに配慮した施設とします。</p> <p>ご意見を踏まえ、『ユニバーサルデザインの観点から、誰もが使いやすい施設となるよう共有部分を整備』に修正いたします。</p>
21	16・17	<p>フロアコンセプト/生涯学習機能</p> <p><意見>図書館に小ホールの設置を検討されていますが、設置の取りやめ、もしくは上部階にされてはいかがでしょうか。</p> <p><理由>伊東市内には図書館は非常に少なく、蔵書も少なく、利用されている人もそれほど多くないと感じています。また HP 上での延長機能がないなど改善点があります。図書館が子供の成長・教育や大人の人生をととても豊かにするものとしての意識が十分醸成されていないのではないのではと</p>	<p>小ホールについては、音楽専用のホールを想定しているわけではなく、通常の会議室に防音又は吸音機能などを備え、多目的な用途や様々な活動に対応できる設えとすることを想定しています。</p> <p>ピアノ等の各種設備や、控室の設置有無及び仕様、さらには、利便性向上の観点から、駐車場から小ホールへ機材を搬入しやすいような動線についても、検討を深めてまいります。</p> <p>また、従来の生涯学習センター中央会館での市民活動に加え、新図書館で生まれる新たな活動や読書推進に向けた図書館イベン</p>

		<p>危惧致しております。より多くの市民が図書館に来館し、本やDVD等を手に取る、借りる・返すを繰り返し、本やDVDに触れるそういったスペースとして活用できることに力点をおかれてご検討いただきたく考えます。</p>	<p>トのほか、小ホールでの活動を目的に来館した利用者の興味を引くテーマの資料展示等、生涯学習機能との融合施設であることを活かした読書推進の取組みも検討しております。</p> <p>さらに、活動の部屋1及び2についても、小ホール同様、様々な活動に対応できる設えとすることを想定しており、設備についても、使用目的を踏まえて検討する予定であります。</p> <p>今後、基本設計及び実施設計を進める上での参考とさせていただきます。</p>
22	18	<p>表 5-2 生涯学習に必要な機能</p> <p><意見>小ホールにグランドピアノの設置をされたい。</p> <p><理由>小規模の音楽の発表の場として使いたい。お客様が100人程度入れる会場がありません。ひぐらしホールは広すぎ、遊戯室は狭い。</p>	
23	18	<p>表 5-2 生涯学習に必要な機能</p> <p><意見>活動の部屋1及び2の用途に、音楽活動を加えていただきたい。アップライトピアノの設置をされたい。</p> <p><理由>コーラスグループ等の練習の場として、現在の視聴覚室程度の広さが良いので、活動の部屋2を使いたいと思いますが、ダンスなどのサークルと打ち合わせが予想されます。どちらの部屋でも活動できることを想定していただきたいと思います。</p>	
24	18	<p>5-2-2 生涯学習機能</p> <p><意見>特に小ホールはひぐらし会館にもあり、市内に同様の施設を複数設置する必要があるのか。</p> <p><理由>小ホールに限らず、市内に同一目的の諸室がいくつかあります。これらはあえてまた新しく作る必要があるのか、また作る場合は他施設と差別化を図るべきではないか</p>	

		<p>と考えています。</p> <p>おそらくは新しい図書館の諸室が人気になると思うので、そうなる既存の施設が維持費だけかかる無用の長物になってしまうのではと危惧しています。とりわけ目と鼻の先にある健康福祉センターは、目的による使い分けを明確にし、それぞれどちらも市民に求められるような用途にすべきだと思います。</p>	
25	22	<p>表 5-6 新図書館の施設規模</p> <p><意見>小ホールに控室の設置。鏡・ロッカーの配備を。</p> <p><理由>出演者が着替えたり、荷物を置く場所が必要。</p> <p>(ひぐらし遊戯室は控室がなく困っています。倉庫で順番に着替えています。)</p>	
26	24	<p>図 5-2 ゾーニングイメージ</p> <p><意見>小ホールの搬入口と経路を、機材を運び入れやすいように確保してください。ホール控室は 20 人程度が待機できるように。</p> <p><理由>図からは具体的にどのように考えているのかわかりませんが、搬入と倉庫が兼用であったり、控室が狭く感じます。</p>	
27	18	<p>5-2-3 新たな機能等</p> <p><意見>カフェを充実させるべきである。</p> <p><理由>読書を楽しむには、心地の良い空間を作り出すことが重要です。読書をするつもりがなくても、空間の力で、読</p>	<p>新図書館では、施設の顔となる1階に利用しやすく居心地の良いカフェを整備予定です。また、読書に親しむきっかけとなるよう、1階には本に興味がない人でも思わず手に取ってみたいくなるような資料も配架することを予定しております。カフェの具</p>

		<p>みたい気持ちが湧いてくることがあります。そのためには、行きたくなるようなカフェを目指す必要があり、民間の創意工夫豊かでスタイリッシュなメニューを提供できるカフェの参入が良いと思います。(できれば市内企業のカフェにがんばってもらいたいところ)</p> <p>活字離れが進む一方なので、カフェを入り口として、主に若い世代が図書館に親しみを持てるように仕向けてほしいです。</p>	<p>体的な在り方について、今後、管理運営方法に関する詳細を決めていく上での参考とさせていただきます。</p>
28	19 など	<p>開架図書の割合が40%とされている点</p> <p><意見>図書館の最も重要な機能は、多くの蔵書を閲覧できることである。全体の4割を利用者が閲覧できるとの計画であるが、それをできるだけ100%に近づけてほしい。現在の図書館では、書庫の中に、多くの図書が置かれている。閲覧したいときには、職員の方に頼んで持ってきてもらう。しかし、本の様子を調べるには、手に取って見る必要がある。その繰り返しで適当な本が見つかる場合が多い。よって、いちいち、職員の方に書庫から持ってきてもらうシステムでは、自分の欲しい本が見つかりにくい。特に、比較的、古い本の場合には。</p> <p>よって、新図書館では、全部を開架としていただきたい。全部の本を、すべての人が見ることができる形でなくとも、利用者(大人)が、書庫で本を探ることができるようにしてもらってもよいと思う。いずれにしても、職員の方を煩わす</p>	<p>新図書館では、現施設よりも多くの資料を開架スペースに配架し、利用者が多様な資料を手にとって読むことができる環境を整備する予定であります。また、伊東市の図書館サービスの基幹となる本館としてふさわしい規模の蔵書を構築し、適切に資料を管理・提供するためにも、一定程度の閉架書庫が必要であると考えております。利用者にとって使いやすい図書館となるように、基本設計及び実施設計や管理運営方法に関する詳細な検討を進める中で、開架・閉架のバランスや書庫の運用方法についても併せて検討してまいります。</p>

		ことなく、自由に本を探せる形にしてほしい。	
29	23～25	5-6 ゾーニング及び配架方針 <意見>オーディオビジュアル資料を上映したり鑑賞したりできるホールスペースが欲しい。 <理由>若年層は動画コンテンツに親和性が高い。映像資料の上映、音源の鑑賞が、ひな壇式の小ホールにて本物の機材を使ってできる環境を整えることで伊東市の文化的レベルを向上させる。ミニコンサートが開ける、音楽会が開催できる等の利点も生まれるため。	新図書館には、通常の会議室に防音又は吸音機能などを備え、多目的な用途や様々な活動に対応できる諸室（小ホール）の設置を想定しており、音楽活動やダンス、講演会など、多目的に活用できる設えとすることを検討しております。今後、基本設計及び実施設計を進める中で、映像作品の上映会等が可能な設備の設置についても検討してまいります。
30	24	活動の部屋1、和室、会議室の配置について <意見>「動的活動」の部屋は低層階に集約すると謳われていましたが、4階で良いのでしょうか。図書館閉館後の時間にも諸室の貸出しは行うとのことですが、館内の書架を通らなくては行けない（ように見える）部屋を図書館閉館後にも利用させるのは管理上問題があるのではないのでしょうか。 <修正案>上記諸室の配置を再度検討しては如何でしょうか。	新図書館では、活動と情報を一体的に提供するとともに、施設全体の回遊性を高めて新たな出会いを創出するため、従来の図書館機能及び生涯学習機能を融合した一体的な施設とすることを想定していることから、両機能の諸室を各フロアに分散配置することを検討しております。 また、新図書館では機能ごとに異なる閉館時間を設定することは想定しておらず、専門的な図書館サービスは19時までとし、19時以降も開架資料の閲覧や自動貸出機、返却機及び予約受取棚等によるセルフ貸出・返却、諸室の利用が可能な仕組みを想定しています。
31	25・27	配架方針/全体イメージ <意見>図書スペースをより下階に設置すべきと考えます。 <理由>伊東市民の平均年齢から検討しても、図書館のより低層に本棚を多く置く方が、より利用者目線に立っていると	建設予定地が津波浸水想定区域及び洪水浸水想定区域であることや、これまでの検討過程で寄せられた市民意見を踏まえ、伊東市新図書館基本構想では、1階部分には貴重な資料等は配架せず、交流機能などの活動的な機能を導入することが望ましいと

		考えます。	しています。なお、新図書館の整備に当たっては、エレベーターの設置等、ユニバーサルデザインに配慮して、誰もが使いやすい図書館となるよう検討を進めてまいります。
32	26	<p>まちのミュージアム分類</p> <p><意見> 肥田浜五郎、中村正直、北里柴三郎を加えて下さい。</p> <p><理由></p> <p>肥田浜五郎と中村正直は伊東が生んだ偉人であり、北里柴三郎は伊東に貢献した大恩人です。伊東にとって忘れてはならない人物であるからです。</p>	<p>新図書館の柱となる「まちのミュージアム」では、郷土資料を始め、伊東市の歴史・文化やそこから連想される幅広い資料及び情報を積極的に収集・発信することを想定しています。</p> <p>「まちのミュージアム」での収集対象として、今後、詳細な配架計画を作成する上での参考とさせていただきます。</p>
33	26	<p>まちのミュージアム分類（案）</p> <p><意見> 芸術の中に、音楽や舞台芸術の関連資料を入れてください。</p> <p><理由> 地元には音楽関係のアーティストも多くいますが、CD やビデオ、楽譜等の資料を保存し、視聴覚コーナーで視聴したり、後世の方が調べられるようにしておいてください。</p>	<p>まちのミュージアムには、伊東にゆかりのある音楽や舞台芸術を含む様々なアートや芸術家の関連資料を幅広く収集することを予定しており、視聴覚資料が再生可能なスペースの設置も予定しております。</p>
34	27	<p>全体イメージ</p> <p><意見> 建物の上階は長く時間を使われるスペースを充実させてはどうでしょうか。</p> <p><理由> 本を借りるという意味で、なかなか建物の3階(実質4階)に上がるほどの動機付けが難しいと思いました。</p>	<p>建設予定地が津波浸水想定区域及び洪水浸水想定区域であることや、これまでの検討過程で寄せられた市民意見を踏まえ、伊東市新図書館基本構想では、1階部分には貴重な資料等は配架せず、交流機能などの活動的な機能を導入することが望ましいとしています。</p> <p>また、外部からアクセスしやすい2階のエントランス部分では、魅力的な資料の配架等を通じて訪れた人の好奇心を刺激し、3、4階の書架や諸室での活動へと関心を広げてもらえるような工</p>

			夫を検討しております。
35	27	<p>全体イメージ</p> <p><意見>建物をめぐることもできるような導線があるとよいと思いました。</p> <p><理由>上階に上がる際は、スロープや傾斜の緩い階段を壁に沿わせて設置することなどして雨の日や天気の悪い日にも楽しく過ごせるようなことをご検討いただきたいです。</p>	<p>新図書館では、施設全体の一体感や回遊性に配慮して動線を設定する予定であります。施設を巡ることができる動線について、今後、基本設計及び実施設計を進める上での参考とさせていただきます。</p>
36	27	<p>カフェの広さ</p> <p><意見>カフェの席数は多めにしてほしいです！</p> <p><理由>図のせいかとは思いますが、カフェがあまりに狭いと、あっても意味がないです。福祉センターのカフェはテーブル4～5でしたでしょうか？見通しが良く居場所という感じが少ないです。居心地、ということを考えて作っていただけると信じておりますが少し心配しています。福祉センターのことでいうと、音の問題もあります。(オフィスの音がして、くつろぐ雰囲気がもうひとつです。)軽く音楽をかけられる？等、環境音についてもご検討ください。</p>	<p>カフェは施設の顔ともなる1階に設置予定であることから、十分な席数を確保するとともに、ゆったりとくつろげる居心地のよい環境の整備を予定しております。</p>
37	28	<p>管理運営計画</p> <p><意見>毎週月曜日を休館日としない</p> <p><理由>毎週月曜日を休館日とするのではなく、別途月1～2回程度の定期点検日等を定め運用したらよいと思う。毎週月曜日を休館とする運営方法は図書等公共サービスの提供</p>	<p>現伊東図書館では、原則月曜及び祝日等を休館日としていますが、新図書館では、多様なライフスタイルの方々の利用を促すために、月曜及び祝日の開館を目指し検討しております。</p>

		として馴染まないのではないか。	
38	28	<p>6-1 開館時間・休館日</p> <p><意見>施設全体の開館時間を9～21時としていますが、元々、中央会館は22時まで開館していたかと思います。施設サービスの低下にはならないでしょうか。</p> <p><修正案>閉館時間を22時とする。</p>	<p>新図書館では、従来の図書館機能と生涯学習機能の融合を目指すことから、機能ごとに異なる閉館時間を設定することは想定しておりません。閉館時間については、現伊東図書館及び中央会館の開館時間や利用状況等を踏まえ、適切な時間となるように検討してまいります。</p>
39	28	<p>管理運営体制</p> <p><意見>直営と民間活力の活用による運営とで、それぞれどのようなメリットやデメリットがあるのか、特に民間活用の場合に生じうるリスクについて、さらには人員体制及び人件費に差異が生じる理由について、それぞれ詳細に記載すべきである。</p> <p><理由>図書館運営において、「管理費が安い＝適切な運営」とは言えないため（例：民間の活用で行政の監視の目が行き届かず、効率化の元に重要史料が安易に廃棄される、人件費の抑制により行政が積極的に低賃金労働者を生み出してしまうことになるなど）</p>	<p>民間活力を活用した場合、弾力的な勤務形態が可能となることから、休日や休憩時間帯が固定され、勤務時間割の調整が難しい直営の場合よりも効率的な人員体制を整えることができ、結果、人件費を削減することが可能と見込んでおります。</p> <p>管理運営体制については、今後、サービス内容や費用面から直営／民間活力のメリット・デメリットを検証の上で決定をしていますが、民間活力を活用する場合であっても適切な地域雇用の創出が図られるように検討してまいります。</p>
40	28	<p><意見>事業委託をすると配置人数が減り、人件費が安いような印象を受けますが、委託にしたときになぜ、人件費や経費が下がるのか？の説明が必要です。</p> <p>この人件費を受け取るのは地元住民ですから、とても重要なことです。経費が多くても雇用が増えた方が良いという考え方も出来るからです。今後しっかりした議論を望みます。</p>	

		<p><理由>判断に必要な情報が揃っていないと思いました。</p>	
41	—	<p><意見>伊東市民の男性です。 「まちのミュージアム」を中心部に構築するアイデアはとても良いと思います。 本離れが進む現在だからこそ、多くの市民が利活用できる施設を目指してほしいです。 駐車場について意見があります。 現在、旧マンダリンホテル跡地の仮設駐車場に施設の閉館時間である夜中、明け方にも、駐車している車を見かけます。 市の施設を利用せずに、私的に駐車していることは明白です。 市の施設を市民が公正、平等に利用する観点から、新図書館では閉館時には利用できないよう駐車管理することをお願いします。</p>	<p>夜間や閉館時の駐車場の具体的な運用方法については、今後、図書館機能の充実を念頭に管理運営方法に関する詳細を検討する中で、公正・平等の観点と使いやすさの観点を踏まえて検討してまいります。</p>
42	—	<p><意見>小学生を持つ親です。 ドライブスルーで返却できるポストを作ってほしいです。 子供が小さいころ、車で寝てしまったり、体調が悪かったり、車を置いてわざわざ返却するのが大変なことが何度もありました。 これは小さい子を持つ親なら絶対欲しいと思います！ 調べてみると、ドライブスルー返却ポストを設置している自治体が多くありました。 ご検討宜しくお願い致します。</p>	<p>自動車で来館する方々が利用しやすい返却ポスト等の設置について、基本設計を進める中で検討しており、ドライブスルー返却ポストについては参考とさせていただきます。</p>

43	—	<p>新図書館の構造について（全体）</p> <p><意見>多目的に利用することが念頭にあると承知する。子供向け、生徒向け、親子づれなどを考慮した作りで、その他に、各種、会合用の場所も設けられる予定である。コロナ禍という特殊な状態であるが、よく図書館を使う者として、現状について述べると、週日は、高齢者の利用頻度が高いと思われる。そのような方々へ配慮した内容が、この案には見えてこない。それに関連して、エレベーターは設置されるのであろうか？多くの開架図書は4Fに置かれる予定であると理解している。また、腰かけるソファなど、高齢者が心地よく使える工夫があってしかるべきであると考え。ICを使ったオートマチック化が図られる予定であるが、それに対応できない高齢者もいらっしゃると思う。従来のマニュアル対応も併存する形が望ましいと考える。</p>	<p>新図書館では、ユニバーサルデザインに配慮してエレベーターを設置し、1階から4階までのどのフロアにもアクセスしやすい動線を確保する予定であります。</p> <p>また、幅広い年代の利用者がくつろいで読書が楽しめるよう、家具や諸室及び設備の配置に配慮し、過ごしやすい閲覧環境を目指します。</p> <p>なお、ICT機器の導入に当たっては、機器に馴染みのない利用者には操作方法を案内する等、誰でもスムーズにサービスを利用できるように職員によるフォローを行います。</p>
44	—	<p>本の分類について（本の配架）</p> <p><意見>現在の図書館では、開架用書棚に置く本は、本の種類（文学、歴史、地理など）で分かれている。文学でも、小説と紀行文の本は、同じ著者でも、分かれて置かれている。できれば、同じ著者の本は、基本的には、同じ場所に置いていただきたい。そのような置き方をしている図書館はあると想像する。</p>	<p>NDC分類を基本としつつ、利用者の探しやすさに配慮した配架方法として、今後の詳細な配架計画を決めていく上での参考とさせていただきます。</p>
45	—	<p>防災との関係について</p> <p><意見>新図書館における地震・津波等の災害時に、史料、</p>	<p>建設予定地が津波浸水想定区域及び洪水浸水想定区域であることから、資料は基本的に2階以上に配架し、特に貴重な資料は上</p>

		<p>利用者さらには周辺住民を守るための施策や機能について記述すべきである。</p> <p><理由>新図書館建設予定地は津波浸水想定区域内であるため。</p>	<p>層に配架・保管することで、浸水被害を最小限にとどめることを想定しております。</p> <p>また、全体的に書架の高さを抑えることで地震等の災害発生時も資料の落下による事故の軽減が期待できますが、施設及び立地の特性上、防災機能を備える施設とすることは難しいと考えております。</p> <p>災害発生時の対応については、管理運営方法に関する詳細を決定していく中で、マニュアル作成や近隣施設との連携等も検討してまいります。</p>
46	—	<p>全体としての意見</p> <p><意見>ネットにより簡単に情報が手に入る現代において、読書の価値は年々低下しています。昔のように、本を揃えれば、読みやすいところがあれば人は集まる、という世の中ではなくなったと思います。新しい図書館は大変魅力的ですが、そもそもそこに価値を見出せない人が増えているのではないのでしょうか。せっかくここまで大規模な施設を作るのですから、普段読書に馴染みのない人こそ、読書を親しむきっかけになれるような施設であることが望ましいと思います。</p> <p>また維持費も増大するため、市外からの来館者を呼び込み市の経済活動が活発になること、また市内の産業活性化につながるような企画(既存の企業がさかんになるだけでなく、民間による新たな起業支援などがあっても良いと思います)を考案して、少しでも財政の圧迫を軽減してもらいたい</p>	<p>新図書館では、市街地における癒し・憩い・賑わいの場として、従来の利用者はもちろん、これまで図書館を利用したことがない方々にも広く親しんでもらえる施設となることを目指します。</p> <p>今後、サービスや管理運営方法に関する詳細を決めていく上での参考とさせていただきます。</p>

	<p>す。</p> <p>指定管理者がどの団体になるのか分かりませんが、いわゆる公共の施設ということで「待ち」の姿勢(ポスターを貼るとかパンフレットを置いておくといった受け身の姿勢)ではなく、いかにしてこの図書館を有効活用するかの「攻め」の姿勢(市民の需要を喚起するアプローチ)を期待しています。</p>	
--	--	--